

1993

神戸学院大学

Memorial Hall Green Festival

Programme:

5月8日 (土) 14:30 — **大阪フィルハーモニー交響楽団 コンサート**

指揮: 田中一嘉 ナレーター: 木村倫子

昨秋3回目のヨーロッパ公演を成功させ、ますます意気あがる大阪フィルによる恒例のオープニング。フェスティバル登場3回目の新鋭の輝による、メンデルスゾーンの清澄な「交響曲第4番(イタリア)」、プロコフィエフのナレーション入りの楽しい交響的物語「ピーターと狼」、歿後100年を迎えるグノーの美しいメロディにあふれる歌劇「ファウスト」のバレエ音楽という多彩なプログラムをお楽しみ下さい。

5月15日 (土) 15:30 — **野網 泉 ピアノ・リサイタル**

今春は新鋭からヴェテランまで、いろいろな持味のピアノをお楽しみ下さい。第1弾の野網さんは大阪音楽大学の出身で、ソロ、室内楽、協奏曲といろんな分野で活躍中の新鋭。モーツァルト「ソナタK. 311」、ベートーヴェン「ソナタ(ヴァルトシュタイン)」、ヴェーバー「舞踏への勧誘」、ショパン「ワルツ(小犬)」「ワルツ作品64-2」「練習曲(別れの曲)」「練習曲(革命)」、リスト「愛の夢第3番」「ラ・カンパネラ」「タランテラ」とポピュラーな曲が並びました。

5月21日 (金) 16:00 — **吉武 由子 ソプラノ・リサイタル**

ピアノ: 塚田佳男

久しぶりに声楽の登場。ウィーンで研鑽を積み、オペラにリサイタルに意欲的な活動で注目を集める新鋭が名伴奏者と組んで、モーツァルト「すみれ」「クローエに」「ルイーゼが不実な恋人の手紙を焼き捨てるとき」「魔法使い」、シューベルト「ガニユメート」「ただ憧れを知る者だけが」「グレートヒェンの願い」「鱒」「クレールヒェンの歌」、三善晃「白く」(全曲)、ドヴォルザーク「ジプシーの歌」(全曲)と並べたヴァリエティに富む必聴のプログラムです。

6月14日 (月) 14:30 — **海老 彰子 ピアノ・リサイタル**

ロン・ティボー、ショパン、リースと世界で難関の国際コンクールを総なめにし、主にフランスで活躍する日本の誇るピアニストの一人。一昨年秋の出演で満場を沸かせ、アンケートに続出した再演希望が実現。全プロは未定ながら、ショパン「ソナタ第2番(葬送行進曲つき)」、プーランク「即興曲」のほか、大江健三郎氏の長男光氏の作品数曲が紹介されます。知的な障害を持つこの人の作品がいかに素晴らしいものであるかがおわかりいただけるでしょう。

7月3日 (土) 14:30 — **古川 知子 ピアノ・リサイタル**

京都市立芸術大学の出身で荒蕪一氏の愛弟子の一人。すでにフェスティバルに2回、弦および管とのアンサンブルで登場して好評を博しました。バッハ「前奏曲とフーガ第1番」、スカルラッチティ「ソナタ」、ベートーヴェン「エリーゼのために」、バダジェウスカ「乙女の祈り」、ショパン「ワルツ(小犬)」「ワルツ作品64-2」「ポロネーズ(軍隊)」「夜想曲(遺作)」、ドビュッシー「月の光」「ゴリウオーグのケーキウォーク」、モーツァルト「ソナタK. 331(トルコ行進曲つき)」と色とりどりの楽しいプログラムです。

7月26日 (月) 14:00 — **高校演劇の魅力**

シンポジウム「現代の演劇状況と高校演劇の今」+ 追手門学院高等学校演劇部公演「シャウト! ~僕が僕であるために~」

いま、高校演劇がおもしろい。それは高校演劇部という枠内の話だけではなく、現代の演劇状況においても十分に刺激的であり、だからこそ高校演劇は学校の外へと活動の場をひろげています。今回の催しは、そのような場を提供してきた「高校演劇祭」(第4回・スペースゼロ主宰)と提携し、92年度演劇コンクール近畿大会最優秀校である追手門学院高校の公演と、あわせて高校演劇の魅力を明らかにするシンポジウムをひらきます。

- **お申し込み方法**.....入場無料。希望者は、往復ハガキ(1枚につき1公演)に公演名と住所、氏名、参加希望人数をお書きのうえ、お申し込みください。1枚のハガキで2名様まで入場できます。小学生は選考としますの
で、氏名と年齢を明記しておいてください。(幼児および明記のない小学生は入場できません)
- **お申し込み
お問い合わせ先**.....締め切りは各公演日の2週間前になります。なお、希望者多数の場合は、抽選とします。
〒651-21 神戸市西区伊川谷町有瀬518 神戸学院大学 グリーンフェスティバル係
電話 078-974-1551(代表)

会場/神戸学院大学メモリアルホール(9号館)

主催/神戸学院大学